



# むらたまち 議会だより

Vol. **93**

2015. **2.1.**

The Murata Town Council Newsletter



大人の責任誓う笑顔の成人式

## 平成26年12月定例会

10月 27日臨時会

ズバリ！町政を問う【一般質問 6人】

… **2**

… **6**

… **7 他**



# 20 案件を 議決

## 平成26年 第5回 定例会

12月定例会は、9日から10日までの2日間行われました。

この定例会には、町長から専決処分の報告承認1件、条例の一部改正3件、補正予算6件、工事請負契約の締結1件、指定管理者の指定5件、規約の変更1件、諮問1件、その他議発案2件が提案されました。

審議の結果、いずれも原案の通り可決決定されました。また、6人の議員が一般質問を行い町の対応や考えを問い質しました。

### 条 例

■村田町職員の給与に関する条例の一部改正

人事院の勧告を受け、平成26年度官民格差等に基づく給与水準の改定に伴う月例給及び勤勉手当改正の条例の一部改正を行うもの。

【討論なし・原案可決】

■村田町母子・父子家庭医療費の助成に関する条例の一部改正

次代の社会を担う子どもの

健全なる育成を図るための次世代育成支援対策推進法等の一部を改正する法律により、母子及び寡婦福祉法の一部が改正されたことに伴い関係条文を改正するもの。

【討論なし・原案可決】

■村田町国民健康保険条例の一部改正

産科医療保障制度における掛金の見直しに伴い、出産育児一時金の額を改正するもの。

【討論なし・原案可決】

■補正予算（専決処分）

■平成26年度村田町一般会計補正予算（第3号）

平成26年12月14日執行第47回衆議院議員総選挙に係る所要の経費を措置するため補正したもの。

【討論なし・原案可決】

### 補 正 予 算

■平成26年度村田町一般会計補正予算（第4号）

歳入においては、主に地方交付税の増額等を措置し、歳出においては、主に学校給食センター建設に係る経費の他、人事異動の新陳代謝に伴う人件費等の経費を措置するため補正するもの。



道の駅の簡易パーキング事業予定地

答

市町村道の整備で測量設計委託料7百万円が補正されたが、その事業は何か。

問

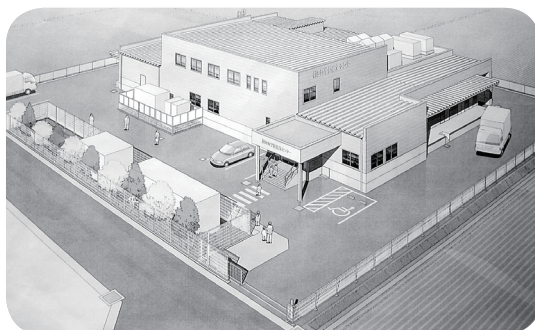
追線のパーキング事業並びに日照田天沼線の測量等の精査による増額補正である。

答

人件費の翌年度見込みを当初予算に反映させたが、職員の退職と異動に伴い、新規職員の採用等をおこなった。年度末の予算見通しを積算した結果、人件費の減となった。

問

保育所費、保健推進費の人件費が減額補正となっている。減額の理由は何か。



学校給食センター完成予想図

答

給食センターの工事終了後、運営準備の他、調理作業等の練習訓練期間も必要となってくる。先進自治体の例でも、2学期から運営している傾向にあり、本町の学校給食センターの給食提供は2学期からと計画している。

問

学校給食の提供開始は、平成27年2学期開始からということの良いのか。

答

学校給食センター建設工事請負費2千万円増額補正の中身は何か。

問

給食センター建物の内部の外構工事である。補正の増額は毎月単価の改定があり、直近の単価、労務費等を積算し工事の発注にこぎつけた。

こんなことが決定されました。

**問** 河川の工事請負費3百万円増額補正しているが、その詳細は何か。  
9月の台風被害による河川補修工事である。場



除雪対応が問われた昨年2月の大雪

**答** 昨年大雪を踏まえ今年冬の除雪体制は、どのように取り組むのか。  
除雪体制については、町内12の業者と除雪、融雪の契約を締結した。幹線主要町道、農道の総延長は約75kmの路線である。また、25kg入りの融雪剤を千6百袋準備し、融雪剤散布機のリースや除雪機を購入し、今冬の凍結防止や除雪に備えた。生活道路の路地や住宅地内路地の除雪については、行政で全て行うことは大変厳しいので、地区内で協議頂き対応をお願いしたい。

視察研修の目的の一つは防災。多可町は震災直後、3月14日から18日まで5日連続で救援物資を送ってくれた。かかるに、町は、ただちに津波被災地に送るよう指示することができず、毛布類（775枚）の大半が4小に保管されたまま。また、他町では10リットルの給水をしていたが、村田では6リットル。中央公民館で炊き出しをしたが、他町より一回り小さいおにぎり。町の防災計画通り複数の場所ので炊き出しすればよかったものを。今もってきちんとした検証がなされていない。

所は田辺川（沼辺）、蛙沢川、馬場入川（沼田）、小谷川（薄木）、滑沢川（西足立）の5箇所である。

**【反対討論】高橋 典久 議員**  
7月9日から11日まで2泊3日で兵庫県多可町に視察研修に行く予定であった。その何日も前からテレビ、新聞等でこれまでにない大型台風が接近しているとの情報があった。にもかかわらず、キャンセルが遅れ、ドタキャンとなり、約28万6千円も支払うことになった。その28万6千円をまたもや町民の税金から出すというのでは、筋が通らない。

また、議会費の議員、職員研修旅費の補正については、議員は住民全体の代表であり、奉仕者であるという立場から、2年に1回、政策の調査や研究などの幅広い調査活動を行い、政策提言や住民全体の福祉向上と地域社会の発展を目指し、その実現に努力することが大切である。

議案第60号 平成26年度村田町一般会計補正予算（第4号）  
（歳入は主に地方交付税の増額を措置し、歳出は学校給食センター建設に係る経費等を補正するもの）

**【賛成討論】太田 初美 議員**  
議案第60号 平成26年度村田町一般会計補正予算について、賛成の立場から賛成討論を行う。提案された主な理由は、歳入においては地方交付税等の増額を措置し、歳出においては学校給食センターに係る経費等を措置するため補正するものである。現在、建設が進んでいる学校給食センターは、文部科学省が求めている衛生管理基準と村田町学校給食基本方針の基本理念である、「子どもたちの笑顔が広がるおいしい給食」そして、基本方針である「おいしく信頼される給食の提供」「地産地消」にもとづく学校給食の提供が、1日目も早く、本町の児童生徒に提供されることが重要である。

意見が分かれた議案の賛否一覧

| 議席番号                                                                            | 1     | 2     | 3    | 4    | 5     | 6     | 7    | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14     | 議決結果<br>(賛成：反対)  |
|---------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------------------|
| 議案                                                                              | 高橋 典久 | 鈴木 保博 | 遠藤 実 | 高橋 勝 | 斎藤 道夫 | 渡辺 元道 | 村上 登 | 佐藤 正隆 | 佐藤 洋治 | 吉野 敏明 | 太田 初美 | 柴崎 俊信 | 大沼 克巳 | 斎藤 万之丞 |                  |
| 議案第60号 平成26年度村田町一般会計補正予算（第4号）<br>（歳入は主に地方交付税の増額を措置し、歳出は学校給食センター建設に係る経費等を補正するもの） | ×     | ○     | ○    | ○    | ○     | ○     | ○    | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | —      | 可決<br>賛成 12：反対 1 |

※表決の区分 ○：賛成 ×：反対

**【起立採決・賛成12 反対1 賛成多数 原案可決】**  
田町一般会計補正予算に賛成する。



■平成26年度村田町国民健康  
保険事業特別会計補正予算  
(第4号)

歳入においては、主に療養  
給付費交付金等を措置し、歳  
出においては、保険給付費等  
を措置するため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

■平成26年度村田町介護保険  
事業特別会計補正予算  
(第2号)

法改正に伴う介護保険シス  
テム改修委託料の他、所要の  
経費を措置するため補正する  
もの。

【討論なし・原案可決】

■平成26年度村田町公共下水  
道事業特別会計補正予算  
(第2号)

維持管理費に係る経費を措  
置するため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

■平成26年度村田町農業集落  
排水事業特別会計補正予算  
(第2号)

歳入においては繰入金を措  
置し、歳出においては、施設  
管理費に係る経費を措置する  
ため補正するもの。

【討論なし・原案可決】

■平成26年度村田町上水道事  
業特別会計補正予算(第1号)

収益的収入予定額について  
は、水道加入金等の増額、収  
益的支出予定額については、  
人事異動の新陳代謝に伴う人  
件費等の経費を措置するため  
補正するもの。

【討論なし・原案可決】

## 工事請負契約

■工事請負契約の締結について

▼工事名 平成26年度村田町  
学校給食センター厨房機器  
設置工事

▼契約の方法

随意契約(プロポーザル方式)

▼施工場所 沼辺地内

▼契約金額

9千952万2千円

▼契約の相手方

日本調理機株式会社東北支店

支店長 佐藤祐治

【討論なし・原案可決】

## その他

■指定管理者の指定について

町が設置する公の施設の管  
理を行わせる指定管理者を指  
定するもの。

▼指定管理者に管理を行わせ  
る施設

①村田町物産交流センター

②村田町野外センター

③姥ヶ懐民話の里ふるさとお  
とぎ苑

▼指定管理者に指定する団体

①②③ 一般財団法人村田町ふ  
るさとリフレッシュセンター  
代表者 理事長 小川 隆秀

▼指定する期間  
平成27年4月1日から平成  
30年3月31日まで

▼指定管理者に管理を行わせ  
る施設

④村田町デイサービスセンター

▼指定管理者に指定する団体  
社会福祉法人柏松会  
理事長 早坂 椒子

▼指定する期間  
平成27年4月1日から平成  
30年3月31日まで

▼指定管理者に管理を行わせ  
る施設

⑤村田町老人憩の家

▼指定管理者に指定する団体  
社会福祉法人村田町社会福祉  
協議会 会長 竹野 晃平

▼指定する期間  
平成27年4月1日から平成  
30年3月31日まで

【討論なし・原案可決】

■宮城県市町村自治振興セン  
ター規約の変更について  
「財団法人」を「公益財団  
法人」に改めたもの。

【討論なし・原案可決】



議会審議の様子

## 人事(敬称略)

■人権擁護委員候補者の推薦  
について

委員の欠員に伴い、推薦す  
るもの。

住所 村田町大字村田  
氏名 星 孝夫

【全会一致・適任と答申】



# こんなことが決定されました。

## 特別委員会設置

■「村田町議会六十年史編纂特別委員会」

▼設置目的 町村合併後から間もなく60周年を迎えるにあたり、村田町議会における歴史を編纂し、後世に伝える残すことを目的とする。

▼委員長 柴崎俊信

▼調査期限 平成27年6月定例会終了後までとし、閉会中もお調査ができるものとする。



村田町議会三十年史

## 決議・意見書

■「主要地方道亘理大河原川崎線に係る村田町と大河原町境付近の変則的な交差点の整備促進要望書」の決議について

亘理大河原川崎線の町境付近における、変則的な交差点による危険解消へ向け、安全の確保が図られるよう、速やかな整備促進について強く求めるもの。

■提出先 宮城県議会議長

【討論なし・原案可決】

■「米価下落に対応した緊急対策を求める意見書」の提出について

平成26年度米の米価下落に対する緊急対策として、農業者への直接的な支援を実施し、将来にわたり安定的な営農を可能とするため、次の施策を講じるよう強く求めるもの。

1 稲作農家の経営が維持できるよう、国として緊急的経営支援を実施すること。

2 収入減少影響額（ナラシ）及び移行円滑化対策の前倒し交付を早急に実施すること。

3 米価下落緊急対策として新たなつなぎ資金を創設すること。

4 早急に過剰米の市場隔離を実施すること。

■提出先 内閣総理大臣、財務大臣、農林水産大臣

【討論なし・原案可決】

## 宮城県議会議長へ要望書を提出

平成26年12月24日に宮城県議会議長へ、「主要地方道亘理大河原川崎線に係る村田町と大河原町境付近の変則的な交差点の整備促進要望書」を提出してきました。

村田町議会からは、議長をはじめ副議長、産業建設教育常任委員長、同副委員長が出席、また、柴田地区選出の宮城県議会議員2名の方と同行いただき、現状の説明と併せ、変則的な交差点による危険解消へ向け、速やかな整備促進が図られるよう、要望をいたしました。



要望書提出

## 文化の日表彰を伝達

平成26年12月定例会開会冒頭、斎藤万之丞議長が多年にわたる地方自治の振興に寄与された功績により、文化の日表彰の伝達が議場にて行われました。



# 10月臨時会

平成26年  
10月27日

## 第4回 臨時会

### 議案

#### ■財産の取得について

町道迫線簡易パーキング事業の用に供する土地を、同一の契約の相手方と2件の土地売買契約の締結により取得するため、土地売買契約の締結について議会の議決を求めるもの。

#### ▼①財産の種類 土地

#### ▼②土地の所在

#### 契約1の土地の所在

村田町大字村田字北塩内43番8

村田町大字村田字北塩内97番30の一部

村田町大字村田字迫91番1の一部

#### 契約2の土地の所在

村田町大字村田字北塩内97番1の一部

村田町大字村田字迫90番3

#### ▼③契約面積

6千287・77㎡

#### ▼④契約金額

5千300・31㎡

#### ▼⑤契約の相手方

987・46㎡

7千541万2千925円  
契約1の金額  
6千652万3千875円  
契約2の金額  
915万9千50円

#### ▼⑤契約の相手方

宮城県名取市大手町  
有限会社日本リビング  
代表取締役 高橋 宏次



土地購入予定地

#### 反対討論

高橋 典久 議員

はつきりしたことは、全国に数百の道の駅があると言われているが、どこにも存在しないような、いびつでおかしな形の駐車場をつくるために土地を購入するということがある。町民が納めた税金で購入するのだから、りっぱな駐

車場をつくらねばならない。いざ何かがあって東北自動車道が止まれば、緊急避難所としての役割を果たすわけだから、それにふさわしい駐車場でなければならぬ。

道の駅には休憩する所がほとんどない。ベンチやイスもない。新たに土地を購入するのであれば、こうしたことも考慮し、土地を有効利用することにより、車の流れもスムーズにいく安全安心な駐車場をつくらねばならない。

したがって、このようにいびつでおかしな形の土地を購入することは、不合理・不自然以外の何ものでもない。

よって、議案第56号「財産の取得」について反対する。

【起立採決・賛成9 反対3 賛成多数 原案可決】

### 人事

#### ■村田町農業委員会委員の推薦について

村田町農業委員会の定数に関する条例第3条の規定に基づく議会推薦の農業委員会委員1名の指名推薦。

住所 村田町大字村田  
氏名 佐山 加代子

【全会一致・推選】

### 意見が分かれた議案の賛否一覧

| 議席番号                                     | 1     | 2     | 3    | 4    | 5     | 6     | 7    | 8     | 9     | 10    | 11    | 12    | 13    | 14    |                 |
|------------------------------------------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-----------------|
| 議案                                       | 高橋 典久 | 鈴木 保博 | 遠藤 実 | 高橋 勝 | 斎藤 道夫 | 渡辺 元道 | 村上 登 | 佐藤 正隆 | 佐藤 洋治 | 吉野 敏明 | 太田 初美 | 柴崎 俊信 | 大沼 克巳 | 斎藤万之丞 | 議決結果<br>(賛成：反対) |
| 議案第56号 財産の取得について<br>(町道迫線簡易パーキング事業の用地購入) | ×     | ×     | ○    | ○    | 欠     | ○     | ○    | ×     | ○     | ○     | ○     | ○     | ○     | 一     | 可決<br>賛成9：反対3   |

※ 表決の区分 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席





- 1 生産者米価の下落について
- 2 請願路線の改良促進について
- 3 柴田斎苑改修に伴うアクセス道路整備について
- 4 子育て支援の充実策について

渡辺元道 議員

### 質問1 生産者米価下落について

本年は天候に恵まれ水稻の作柄が良く仙南地方は作況指数105のやや良となりました。しかし、農協が買い受ける生産者米価概算金が60kgあたり8千4百円と急激な下落となり農家を苦しめている現状です。これでは生産費にならないと、怒りを表しています。これまで政府・農協による、米価を守るためという謳い文句で、減反政策に40年以上にわたり協力させられ、耕地の40%以上の転作を余儀なくされてきました。村田町は、基幹産業の農業の振興を図るべく種々農業政策を講じてきましたが、これでは農業に意欲と希望を持つて継続してくださうと言えないでしょうか。宮城県では、県独自の支援策を決定していると聞いていますが、町にはどのように伝えられているのか、併せて町独自の支援策について検討しているものがあるのか伺います。

町長答弁 国県等へ要望している

生産者米価概算金60kgあたり8千4百円と平成25年産米と比較すると2千8百円も下回る状況になってお

り、農家の方々の影響を懸念しています。県では26年産米にかかる利子補給の新たな助成制度を設けるとともに、相談窓口を設置すると伺っています。町としても町村会を通じ収入減少影響緩和対策及びナラシ以降のための円滑化対策にかかる必要な財源を確保する等、適切な措置を講じるよう要望を行ったところであります。町として、水田を活用した土地利用型作物と、収益性の高い施設園芸や畜産による生産振興を図って参りたい。

### 質問2 請願路線の改良促進について

生活道路の改良を望む町民の声に、町はどのように答えてきたのでしょうか。

現在足立地区の町道松山寺線と小泉地区の町道日照田天沼線の事業が進められています。昭和50年代から請願採択された町道の路線は、35路線に上り、完了した路線は15路線、未着手路線は7路線となっています。

関係地区住民は、早急な生活路線の改良実施を熱望しています。本年度当初予算に測量設計予算を計上した町道田辺線については、平成27年度改良工事に着工

するものと思いますが、今後の計画を伺います。

### 町長答弁 平成27年度から事業着手を目標

町道田辺線については、市町村道整備事業により補助事業として整備するため県と協議しましたが、道路構造令の遵守が難しいとのことで、補助事業による整備は困難となりました。今年度は地元関係者・町・コンサルタントにて現地調査を実施し、全体事業費を算出した上で、再度事業促進にむけ協議をすることとなりました。地元からの要望により平成27年度からの事業着手を目標に作業を進めております。

### 質問3 柴田斎苑改修に伴うアクセス道路整備について

老朽化の著しい柴田斎苑の改良事業については、現在仙南広域事務組合により計画が進められています。

今後地域周辺の交通の利便性向上を図るために、道路の改良を行うべきであると考えます。そこで、県道亘理大河原川崎線の沼辺字原前地区から、町道砂崎線を砂崎橋・舟渡橋を通り町道元開場線に至り、町道寄門線・林道寄門線を経て、柴田町に至るアクセス路線の

改良を進めるべきであると思います。町長の考えを伺います。

### 町長答弁 県と町との道路網アクセス検討会で協議

これら町道・林道とも現在具体的な改良計画はありませんが、砂崎橋・舟渡橋については、平成27年度策定の橋梁長寿命化修繕計画では、補修修繕の優先順位は高いものであります。

この柴田斎苑への道路利用は、現在進めております宮城県と町による本町道路網のアクセスに関する検討会の中で協議してまいりたい。

### 質問4 子育て支援の充実策について

子育て支援策として、村田児童館（放課後児童学級）の整備計画と沼辺児童館の建設計画を伺います。

町長答弁 町子ども・子育て支援事業計画で方向性を出したい

村田留守家庭児童学級は町民体育館の一部を、沼辺児童館は二小体育館の一部を利用してあります。現在町子ども・子育て支援事業計画の策定を行っており、その中で計画する予定です。



- 1 平成 27 年度予算編成の方針について
- 2 村田町公民館前バス停留所(高速バス)への上屋整備について
- 3 有害鳥獣捕獲物の衛生的な処理対策について

遠藤 実 議員

質問 1 平成 27 年度予算編成の方針について

消費税再増税の延期によって、本町を取り巻く地方自治体の財政にも大きな影響を受けると思われる。

自治体は歳入不足による借金のため赤字地方債の発行額を増やす必要になると懸念する。2015年度からスタートする「子ども・子育て支援新制度」で国と自治体が事業費を負担する計画だが、再増税延期で財源の見通しが不透明となり、今後の予算編成作業に影響が出ると考察する。

平成 27 年度の予算編成に当っては、第 4 次村田町長期総合計画が町政運営の基本姿勢と思う。

村田町学校給食センター建設も進み、第 2 学期からの給食提供が実施される。

現在、予算編成の方針が示されていると思うが、その具体的な主要施策・事業について町の方針は。

町長答弁

◎「仮称むらた定住促進・少子化対策プラン」を最重要事業に位置付け。

◎みんなで育てる自分たちの町むらたの実現に向け継続事業を基本とする。

村田町学校給食センター

第 2 学期からの給食提供に向け関連整備を進め、若い世代の子育てを支援・夢や希望の持てる魅力あふれるまちづくりをめざし「仮称むらた定住促進・少子化対策プラン」に盛り込まれた計画を最重要事業と位置付けている。また、歴史的、伝統的建造物のある街並みを活かしたまちづくりを進める。「みんなで育てる自分たちの町むらた」の実現に向け継続事業を基本にメリハリのついた予算編成をしていく。

追質問 学校給食センターの関連整備事業は何か。  
建設課長答弁 町道二丁町線の改良と駐車場整備・二小、一中、二中の搬入口整備等。

質問 2 公民館前バス停留所への上屋整備について

高速バスは毎日 12 往復が運行され、村田町役場前・村田町公民館前・サテライト宮城前の 3 箇所に乗降場があり村田町内の利用者はもちろん、乗客数が年々増加している。

特に村田中央公民館前では乗車される方の長蛇の列が頻繁に見受けられ、自転車置き場等で風雨をしのいでいる状況が日常目につく。

このような状況から利用者への利便性確保のためにも、停留所への上屋等の整備について町長の考えは。

町長答弁

◎要望の「村田町中央公民館前に上屋付きバス停留所」が平成 27 年 8 月に完成する。

平成 25 年第 2 回定例会において一般質問があり、運行事業者（ミヤコーバス）に対し上屋付きバス停留所の整備等に向け申入れを行い、事業の実現に向け要望活動を重ねてきた。今般、ミヤコーバスからバス停留所の整備について、平成 27 年度での事業実施の回答を頂き整備に向けて、運行事業者と町・施行事業者で現地打合せを行っており平成 27 年 8 月の完成となる。もう少し時間を頂きたい。



中央公民館前バス停留所

質問 3 有害鳥獣捕獲物の衛生的な処理について

鳥獣被害が拡大する中、鳥獣の捕獲も年々増加の傾向にある。今年度より電気柵等の支援策が拡充された。

現在、捕獲したイノシシの処理は、町有林地内に共同埋設場所が確保されているが、現場から悪臭を放つなど衛生上好ましくない状況が散見される。捕獲された有害鳥獣（とりわけイノシシ）について、廃棄物の処理施設・整備計画について町長の考えは。

町長答弁

◎近隣市町との広域処理施設の建設を検討していく

暫定措置として町有林地にイノシシの埋設場所を確保したところであるが悪臭等の苦情もある。焼却処分は角田衛生センターの施設老朽化や専用施設でないこと、個体の裁断が必要などため村田町では活用していない。

本年 8 月に宮城県南サミット（4 市 9 町）で宮城県に対し野生鳥獣専用の解体施設・焼却施設の設置要望を行った。今後は近隣市町との広域的処理施設の建設を検討していく。



# ズバリ町政を問う

一般質問



- 1 デマンド型乗合タクシー利用と運行について
- 2 雪害対策の対応について
- 3 村田町社会福祉センター(社会福祉協議会)について

高橋 勝 議員

デマンド型乗合タクシー  
利用と運用について

病院や買い物など幅広く利用され好評だが、その成果と問題点について問う。

質問1 当日急に病気になるっても、前日予約なので利用できない。

町長答弁 11月末日現在、450人を超える方々が利用登録され、一日平均乗車数は18・5人、一日最大乗車数は39人。急用に対応している乗り物ではなく、必ず目的地に直行するものではない。

質問2 運行エリアを町内乗車一律300円にできないのか。

町長答弁 料金を安価に設定した場合、バス・タクシー会社の顧客を奪ってしまうことが予想され、一エリア300円、2エリア600円と設定した。

質問3 町外への利用、せめて中核病院までの利用を考えてほしい。

町長答弁 今後中核病院までの乗り入れ実現にむけて、調査検討を考えている。

質問4 足が不自由で、動作が遅い方や重度の障害者の方などは利用できない。

町長答弁 付き添いの方が

同伴の場合には利用できる。介護タクシー等の機能は有していない。

質問5 利用する方は、車を持たない方や高齢者が多いと思われるが、利用者の実情にあった運行をしてほしい。

町長答弁 「地域の足」として利用者の方々と協議し、利用しやすいデマンド交通体制づくりに努めていく。

雪害対策の対応について

質問1 農家への交付金が11月へ大幅に遅れた原因はなにか。

町長答弁 本町においても農業用ハウスの倒壊等、農業被害額は約6千万円になった。本事業については10月1日交付決定となり、一回目11月14日に25件補助金交付を行い、11月末現在、計31件の農業者への交付が終了した。残る農業者の方へも速やかに交付事務を進めている。今回の雪害に対する国の体応は迅速とは言えない。

質問2 同様の雪害が発生した場合、町独自の対応策は。

町長答弁 国及び県の支援がない限り町単独では財政的に困難であり今後は国へ

迅速な対応を要請する。

農業用施設共済に加入するなどの対策・指導・助言を行っていく。

質問3 地域ぐるみの除排雪活動の実施に関する体制づくりについて考えを伺う。

町長答弁 本町はすべて町単独の一般財源で対応するが今回の補正予算で除雪機の購入経費を計上した。

「町はこの路線を除雪・融雪しているのかわからない」との声が多くあったことから、各区長に町が実施予定の除雪・融雪路線図を配布し、各地域に協議・検討して自主防災組織がある行政区に対しては、大雪対策も活動の一部として取り組む体制をお願いしたい。



昨年2月の大雪被害



村田町福祉センター(社会福祉協議会)について

質問1 施設の規模や機能の概要、職員の業務内容、施設全体の安全管理体制について考えを伺う。

町長答弁 社会福祉協議会事務所の建て替えを主眼に置き、内町地区の集会所を兼ねて現計画では敷地面積は隣地の取得を視野に入れ約2千800㎡、建物は木造平屋建て延床面積835㎡を計画している。

指定管理者を置き、施設管理はもとより入居事業者との調整のほか、自主事業などの運営も願っている。

質問2 ボランティアセンターとしての機能と災害時を想定した場合、厨房施設が備えられていないのはなぜか。

町長答弁 煮炊きができる程度の設備は整えたいが、「厨房設備」といえる設備は想定していない。大規模な災害が発生した場合においては、ボランティアの方々にはこの施設を拠点として、それぞれの地域、施設に赴いていただくことを想定している。

# ズバリ町政を問う

一般質問



- 1 都市計画について(危険な交差点の改良整備)
- 2 学校給食センター建設事業費について(1㎡の単価35万円→約58万8,000円)
- 3 子ども・子育て支援について(待機児童問題)
- 4 「有線放送電話撤去事業」の電柱の件について
- 5 新しい社会福祉協議会・仮称「村田町福祉センター」について(2025年問題)

高橋 典久 議員

## 1 危険な交差点の改良整備について(例の「5差路」)

**質問** 県の回答には「現地の調査設計業務も発注する予定」とか「早ければ来年度には工事着手したい」とかあり、具体的に取掛かっているように思われます。しかし、町民には何の説明もありません。具体的に取り掛かる前に、当然、県は住民説明会を開催すべきでした。町としての対策、対応を伺います。

**町長答弁** 県事業においては、道路改良であれ河川改修であれ通常は住民説明会を開催していますが、いずれも県の判断によるものと捉えています。

## 2 学校給食センター建設事業費について(1㎡の単価35万円が約58万8千円に)

**質問** 角田市では工事請負費増額の理由として「建設資材及び人件費の高騰」(生コン43%増、型枠41%増、鉄筋35%増、普通作業員労務費36%増等)と説明しています。角田市のように常識的な説明で「建設資材及び人件費の高騰」の中身を具体的に数字で示してください。

**町長答弁** 骨材については、コンクリート15%増、鉄骨

16%増、鉄筋15%増、その他の建設資材は10%程度の増。また、電気設備や機械設備については平均して20%程度の増となりました。

さらに、労務費については10%の増、当初予算の概算額(5億5千万円)に対して全体的な工事費としては27%の増(6億9千850万円)となり気仙沼市と同等となっています。

(当初予算の概算額…5億5千万円が「27%の増となり」と述べていますが、「落札額」は約6億5千万円。差額…6億9千850万円―約6億5千万円―約5千万円はおかしいです。また、それぞれが10〜20%増のとき、どうして「全体的な工事費としては27%の増」になるのですか。そも、1㎡の単価35万円が約58万8千円に、工事請負費が約4億円から約6億5千万円に増額された理由を問うているのです)

## 3 待機児童問題について

**質問** 平成24年度待機児童5名、平成25年度10名、そして平成26年度も10名です。抜本的な「保育環境」の改善が必要であることは誰の目にも明らかです。町

としてどのように改善するのか早急にその具体策を示すべきと考えます。町長の答弁を求めます。

**町長答弁** 現在の村田保育所の定員は、0歳児から6歳児までで合計90名となっており、全体では定員を超えていませんが、0歳児と1歳児において待機児童があるという状況です。定員を増やすためには、施設の規模の拡大をしなければならず、敷地や財政的な問題等があるため、解決策を探っているところです。

## 4 「有線放送電話撤去事業」の電柱の件について

**質問** 「行政報告書」によれば、撤去する予定の電柱は5千百本。平成24年度実績119本、平成25年度実績112本。現段階での進捗率14.07%。いつになったら終わるのでしょうか。「有線放送電話撤去事業」の電柱の件について町長の考えを伺います。

**町長答弁** 今年度は菅生の細倉地区、宮根地区の電線、電柱等の撤去作業を行っています。

今後においても、今年度同様に年次計画をもってエリアごとの電線、電柱等の

撤去を行っていきます。

## 5 新しい社会福祉協議会・仮称「村田町福祉センター」について

**質問** 「2025年問題」は、「10年後の福祉のあり方」にかかわる重大な問題です。「2025年問題」の対策・対応において「村田町福祉センター」は、どのような役割を果たすのか。その役割を果たすためにはどのような施設にすべきなのか、どんな設備が必要なのか、町長の答弁を求めます。

**町長答弁** 「(仮称)福祉センター」は、自助、互助、共助、公助のうち、「互助」(住民組織、ボランティアの活動)の分野の中核的な役割を担う施設として整備すべきと考えています。

従って、デイサービスやリハビリといった専門的な器材及び人材が必要なことについては、医療機関や事業者に担ってもらい、それ以外の予防事業などは、保健師等が各地域の施設に向き実施することを基本とし、福祉センターで行う事業は限定的なものになると考えています。



# ズバリ町政を問う

一般質問



## これからのまちづくり竹の内産廃処分場対策と「村田町元気創造アクション」について

佐藤 正隆 議員

### 1 大詰め竹の内の施策について

これまで欠かさずに質問してきた竹の内産廃の環境復元対策と自治のまちづくり。必ずしも私たちが納得するようない方向性を持つたお答えをいただいては来ませんでした。

今回はお互いに残り少ない任期を過ごす二人の間答の総括として以下を質問します。

竹の内では新特措法での支援延長を得て国を巻き込んで行った噴出防止工が有効に働きませんでした。

**質問1** このことに関して事業主体の宮城県は早速の住民説明会を行うべきですが私たちには何も言ってくるません。町長にはなにか話がありましたが。町はなにか具体的な要請をしましたか。

**質問2** 特措法という処分場の安定化とはどんな状態を言うのでしょうか。

それはいつになったら可能なのか。

・そのことについて事業者宮城県と地元自治体村田町はつめた話し合いをしたことがあるのか、具体的な合意事項があるのかないのかを伺います。

**質問3** これまでの処分場を検証して安定度の点数は

何点ですか。

**再質問** ここまで事態がも

つれて、役人組織が機能しない状況になってしまっているのだから、町長も竹の内に絡みつくある種の勘違いを捨てて現実に目覚める時。被害に遭っている地元自治体の首長として、知事と直接語り合うなど、竹の内の解決する方向に具体的に動いて欲しいと思っていますがいかがですか。

**町長答弁** 7月に完成した噴出防止工で、9月にまた噴出したと報告されました。

その原因について専門家、工事設計社、施工業者と検討していて、評価委員会を12月に前倒しして開き意見を聞くとのこと。町としてこの評価委員会後に、県を含む関係五者会を開き対応策をしっかりと確認すると申し入れていきます。

処分場の安定化とは、竹の内での処分場から周辺地域へのガスの影響がなくなること、浸透水の拡散による地下水汚染がないこと、その状態が継続することと規定されていて、これまでのモニタリングデータから見て明確な将来予測を立てるのは難しい状況です。

処分場の安定化という具体的な到着点が見えないの

で安定度について評価できる状況にはないと考えます。

ひとつ言えることは、このまま支障除去工後のモニタリングを続けて安定化の目安を平成28年までに得ること、平成32年には地域の安心安全が具現化されるよう推移を注視していきます。

### 2 これからのまち創りの狙いは

安心して子供を産み育てられる町になるには

**質問4** 次に、今般行われたまちづくり懇談会で町長が特に力を入れて話した「村田町元気創造アクション」の「安心して子供を産み育てられる町」づくりについて。それには、この座談会などで発信された町民の生の声を新鮮な内に実行する、ある権限を持った部署の新設だと思いつながら聞いていました。その住民の思いを吟味調整して、すかさず町政につなぐ、ある権限を持たせた「すぐやる係」はともすれば停滞しがちな小自治体の元気創造の羅針儀にもなるのではと思いますがいかがですか。

**町長答弁** すぐやる係の設置については、各地区から寄せられた要望によつてはすぐできるものと検討を要

するものがあり、関係機関との調整が必要なものもあります。

町の組織体制をなお一層充実させていく中で対応しているものと考えています。今後も町民の視点に立ち、すぐ出来るものについては迅速に対応していく所存ですのでご理解ください。



※写真の説明

「廃棄物の全量撤去を進める豊島に立ちたくて、10月に再訪を果たした。島民一丸となった撤去運動の余熱が残る現場の住民運動記念館、心のふるさと館には壁面にゴミ層の実物のカットモデルやボーリングコアまで収集展示されている。ここでは、早々と出された香川県の安全宣言をはねのけた住民パワーが中央公害調停を提起して日本初の完全浄化を勝ち取った闘争の歴史が語られている。」



# 1 住民の声を反映させる予算編成を 2 人口減少対策は国と地方の連携が必要

太田 初美 議員

1. 2015年度予算編成について

質問1 第4次村田町長期総合計画の基本計画が前期5年間の最終年度を迎える。本町の平成27年度予算の概算要求基準は、どのような編成方針に基づいて作成したのか。予算編成の取り組みを問う。

町長答弁 将来の財政負担を考慮し先例や慣例にとらわれることなく、事業の優先度を十分検討し将来にわたる行政サービスの維持を図るため、様々な工夫と英知を結集した予算要求を行うよう指示した。本町の人口減少と少子化進行の抑制を図り、地域コミュニティの維持・活性化に繋げる魅力あるまちづくりを目指していく。

質問2 平成27年度の歳入（自主財源と依存財源）見込みと歳出見込みはどのような設定になるのか。財政運営の見通しを問う。

町長答弁2 歳入は、平成26年度予算額と同額と予測しているが、地方交付税は前年度比5%の減額、臨時財政対策債も前年を下回ると推測している。

歳出は、事業の優先順位を定め、事業の必要性、緊急性を精査し町民の暮らしに重きを置いた予算編成を行う。

質問3 消費税率8%から10%への増税が1年半延期することが決定した。予算編成にあたり増税分の地方消費税交付金は幾ら入ると見込んでいたのか。

財政課長答弁 平成26年度当初予算では、1億5千4百万円。平成27年度は試算したところ2億円程度を見込んでいた。

質問4 まちづくり懇談会が21行政区を対象に開催されているが、住民から出た意見や要望などについて、どう検討し新年度予算にどう反映していくのか。

財政課長答弁 すぐに対応できるものは、通常の維持管理費で対応する。また、時間の必要なものと十分検討が必要なものについては、他事業と調整を図りながら、意見要望に応えられるよう対応していく。

2. 人口減少対策について

質問1 急速に進む少子高齢化、人口減少の対策は

重要な課題である。政府も重要課題として地方創生2法案を成立させた。本町でも、人口減少の対応は危機感を持って総合戦略を早急に策定すべきだ。本町の人口減少対策はどう検討するのか。

町長答弁 町の将来を見据え定住人口の確保に力を入れるため、4月から村田町定住促進補助金事業がスタートした。また、独自の定住促進と少子化対策事業の展開に向け7月に「村田町定住促進・少子化対策プロジェクトチーム」を設置し、安心して子どもを産み育てていく施策や福祉、雇用確保、住環境整備等の施策を企画検討していく。



定住策として購入する雇用促進住宅＝北塩内

質問2 4月からスタートした定住促進事業補助金制度の利用実績と定住促進・少子化対策プロジェクトチームの進捗状況を問う。

財政課長答弁 定住促進補助金制度の交付決定は2件。現在、数件の問い合わせがある。プロジェクトの取り組みは、定住促進・少子化対策事業の洗い出しをおこない、職員等に新たな事業の提案を求め、転入促進につながるプランの策定の作業・検討に入っている。

質問3 人口減少対策は、最優先の課題でありスピードを挙げて取り組む問題である。地方版総合戦略の作成作業を前倒しで進め、地方創生関連の施策を新年度予算に盛り込むべきと考える。町はどう検討して行くのか。

財政課長答弁 現在進めている定住促進・少子化プランを骨格にした総合戦略を策定し、新年度予算では第1段階の事業を織り込み、次年度以降も成果につながる切れ目のない支援や施策を実施していく。また、第2段階の事業展開に向け、国、県の総合戦略と連携を図りながら年次計画で進めていきたいと考えている。



## 常任委員会

# レポート

## 町税の賦課・徴収について

### 総務民生常任委員会

#### ○調査結果

村田町における、町税の収納率の推移は平成21年度89・4%、平成22年度90・7%、平成23年度92・1%、平成24年度93・8%、平成25年度95・0%と5年連続で上昇している。

これは、滞納整理時に差押え等を含め、積極的に徴収活動を進めてきた成果であり、滞納整理指導員の熱意と徴収員の研鑽が結実したものである。一方、少子高齢化や人口減少、就労者減少などの社会情勢は、町税の減収等に直接的に影響を及ぼすことが懸念されており、今後さらに町税等における滞納整理業務の重要性が高まっている。

#### ○委員会所見

町税は、公共サービスを提供する上で重要な一般財源であり、町の財政上、この根幹を担う財源である。町税の未収や滞納が増加すれば、公共サービスにも支障をきたす恐れがあり、生活の基盤も揺らぎかねない。



常任委員会の審査

近年の徴収率向上は、大いに評価に値するもので、これを契機として税の公平性、重要性を広く啓発し、引き続き未収金の滞納処理に努めなければならぬ。

平成26年度町税等対策基本方針については、困難化した滞納事案の早期収納処理、現年課税の収納強化月間の設定、納め忘れ防止のための電話催促などへの取組は、更なる収納率向上に資するものと期待される。徴収職員にあっては、税務に対する高度な技能と高い士気の醸成を図るため、あらゆる機会を捉え、研修研鑽に努めるよう期待する。

## 都市計画事業について

### 産業建設教育常任委員会

#### 1 都市計画の状況

村田町の都市計画は、都市計画法に基づき、町の健全な発展と秩序ある整備を図るために昭和24年4月に計画決定され、昭和48年12月の変更により行政区域7千841haのうち足立の保安林と北向地区を除く6千775haを都市計画区域として指定している。

仙南地域では、七ヶ宿町を除く2市6町において、昭和40～50年代に各市町の区域を主とした範囲で都市計画区域が指定されてきた。

しかし、近年、各自治体の区域を越えた日常生活圏が形成されてきている実態を鑑み、平成25年3月に宮城県で制度見直しが行われ、8市町の都市計画区域を一体化し「仙南広域都市計画区域」と呼称することになった。

用途地域については、既成市街地及び区画整理事業で整備した区域の良好な土地利用を図るため、平成11年4月に指定を行い、平成20年5月の変更を経て297・7haの制限を設けている。

#### 2 都市計画道路

計画路線は7路線、計画延

長は21・83km。

1 沼辺足立幹線

2 豊田末広線（通称城山通り）

3 西原下河原線

4 金谷広畑線 5 小池石生線

6 広畑大森線 7 小池元館線

うち改良済延長4・16km、既

成済延長4・71km、現在整備

中として、平成15年から着手

している沼辺足立幹線を年次

計画により整備を図っている。

#### 3 都市公園

都市公園は、5箇所で供用開始整備済みとなっている。

#### ○委員会所見

都市計画は、町の健全な発展と秩序ある整備を図るために、昭和24年4月に計画策定され、昭和48年12月に変更し今日に至っている。

計画そのものが、将来に適合しているものか、慎重に審査し、計画の見直しに着手する時期にきているものと思われる。また、都市計画道路についても、現在の道路交通事情等を勘案し、見直しを図るべきである。都市公園は町民の憩いの場として、維持管理に万全を期されたい。

# 議会日誌

- 11/ 7 宮城県町村議会議長会議員広報研究会(仙台市)  
 11/10 第10回全員協議会  
 11/11 東京オリンピックにおけるクレ射撃競技  
 招致要望書提出(仙台市)  
 11/12 第58回町村議会議長全国大会(東京都)  
 宮城県町村議会議長会宮城県出国議員  
 国政報告会・要望会(東京都)  
 11/13 宮城県町村議会議長会宮城県出国議員  
 要請活動(東京都)  
 11/17 大河原町議会議員研修会(大河原町)  
 11/21 宮城県町村議会議長会正副会長会議・監事会  
 (仙台市)  
 11/25 宮城県議会議長への平成27年度町村振興対  
 策に関する要望提出(仙台市)  
 宮城県知事への平成27年度町村振興対策に  
 関する要望提出(仙台市)  
 11/28 宮城県町村議会議長会理事会・監事会(仙台市)  
 11/29 地方創生セミナー(仙台市)  
 12/ 4 議会運営委員会  
 第11回全員協議会  
 12/ 9 第5回村田町議会定例会本会議(1日目)  
 12/10 第5回村田町議会定例会本会議(2日目)  
 議会運営委員会  
 村田町議会六十年史編纂特別委員会  
 12/19 仙南地域広域行政事務組合議会運営委員会・  
 補正予算説明会(大河原町)  
 12/22 南部議会議長・議会事務局長合同会議(大河原町)  
 12/24 仙南地域広域行政事務組合議会定例会(大河原町)  
 宮城県議会議長への要望提出(仙台市)  
 1/ 9 議会広報編集審査特別委員会  
 1/15 議会運営委員会  
 1/16 議会広報編集審査特別委員会  
 宮城県後期高齢者医療広域連合議会全員協  
 議会(仙台市)  
 1/21 宮城県町村議会議長会正副会長会議(仙台市)  
 1/22 議会広報編集審査特別委員会  
 宮城県町村議会議長会理事会・監事会(仙台市)  
 1/23 宮城県町村議会議長会議員講座(仙台市)  
 1/27 村田町議会六十年史編纂特別委員会  
 1/28 総務民生常任委員会所管事務調査  
 1/29 産業建設教育常任委員会所管事務調査  
 1/30 宮城県後期高齢者医療広域連合議会定例会  
 (仙台市)



村田町新春顔合わせ会



沼辺地区年始会

寒中お見舞い  
 申しあげます



村田町議会議員一同

※公職選挙法により、政治家(候補予定者含む)は、答礼の  
 ための自筆によるものを除き、年賀状、暑中見舞状など時  
 候の挨拶状を出すことが禁止されております。

次の定例会は  
 3月3日より開会予定です

本会議の様子をインターネット中継にて配信しております。

村田町ホームページアドレス(下記)より  
<http://www.town.murata.miyagi.jp/>  
 コンテンツ「議会」から「議会中継」へ  
 アクセスしてください。

本会議の日程については、町ホームページの  
 「本会議開催予定表」で詳しくお知らせしています。

議会を傍聴しませんか

議会はどなたでも傍聴できます[定員22人]  
 詳しくは議会事務局まで TEL 83-6410

## 編集後記

昨年は広島  
 の土砂災害や長野  
 県御嶽山の噴火、  
 あるいは白馬の地  
 震と自然災害が  
 続きました。

1月17日阪神  
 淡路大震災から  
 20年になりました。  
 テレビで追悼  
 の模様を見ていましたが、心の  
 傷は深く、癒えるまでには長い  
 長い時間がかかります。心よ  
 りお悔やみ申し上げます。

今は戦後70年の節目の年。  
 日本は、大きな曲がり角にあ  
 るようです。村田町も、消滅可  
 能性の高い自治体にリストアッ  
 プされ、不安材料は高まるば  
 かりです。

今こそ、議会は、その使命を  
 果たすべき時と考えます。

議会広報編集審査特別委員会

委員 高橋 典久

発行・編集責任者

議長 斎藤万之丞

議会広報編集審査

特別委員会

委員 長 太田 初美  
 副委員 長 高橋 勝  
 委員 高橋 典久  
 委員 鈴木 保博  
 委員 遠藤 実  
 委員 斎藤 道夫